

様式1

令和5年度 年度事業評価書

評価対象期間	令和5年4月～令和6年3月分
施設名	鳥取市お城山展望台河原城
指定管理者名	株式会社 風土資産研究会
指定管理期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
施設所管課名	経済観光部 観光・ジオパーク推進課

1. 事業評価

確認する内容	指定管理者	施設所管課		
	自己評価	評価	確認方法	備考
I. 公共サービスの実施状況				
1 仕様書・事業計画に基づく事業が適切に行われたか	3	3	書面・聞き取り	
2 基準に基づき、適切な人員配置がなされたか	3	3	書面・聞き取り	
3 業務に必要な研修や職員の育成・指導が適切に行われたか	3	3	書面・聞き取り	
4 平等利用が確保され、利用者から利用許可に対する苦情がないか	3	3	書面・聞き取り	
5 利用実績に関する帳簿が作成され適正に管理されているか	3	3	書面・聞き取り	
6 減免対象者は、適切に減免しているか	適切	適切	書面・聞き取り	
7 地域の活性化につながる社会貢献活動等への配慮はあるか	4	4	書面・聞き取り	地域色を活かしたイベント等年間を通して実施している
8 満足度調査を実施し、その結果は妥当か	3	3	書面・聞き取り	
9 利用者の苦情等を把握し、業務改善を実施しているか	3	3	書面・聞き取り	
10 利用者拡大のための改善・努力がなされているか	3	3	書面・聞き取り	
II. 施設の維持管理の実施状況				
11 清掃・衛生管理は適切に行われているか	3	3	書面・聞き取り	
12 備品・設備・施設の点検・修繕は適切に行われたか	3	3	書面・聞き取り	
13 消耗品の補充が適切に行われているか	適切	適切	書面・聞き取り	
14 再委託先の業務を適切に管理しているか	3	3	書面・聞き取り	
15 点検によって異常等が認められたとき、速やかに適切な処置が実施されているか	3	3	書面・聞き取り	
III. 施設の経営状況				
16 事業収支は妥当であるか	3	3	書面・聞き取り	
17 施設の運営に要する経費節減の努力は、適正になされているか	3	3	書面・聞き取り	
IV. 法令等の遵守状況				
18 個人情報の管理は適切に行われたか	3	3	書面・聞き取り	
19 市税、国税、社会保険料等の滞納はないか	滞納なし	滞納なし	書面・聞き取り	
20 労働関係法規(労働基準法、労働安全衛生法、最低賃金法など)を遵守しているか	適切	適切	書面・聞き取り	
21 設備、施設の法定点検、必要な届出は実施されているか	適切	適切	書面・聞き取り	

確認する内容	指定管理者	施設所管課		
	自己評価	評価	確認方法	備考
V. 施設運営に関する情報の公開				
22 HP等可能な媒体を利用して情報公開しているか	3	3	書面・聞き取り	
23 指定業務に係る文書の保存が適切に行われ、情報公開請求等に対応できるか。	3	3	書面・聞き取り	
24 市への報告体制が確立されているか	3	3	書面・聞き取り	
VI. リスク管理の状況				
25 基準に基づき保安・警備業務が適切に行われたか。鍵の管理は適切か	3	3	書面・聞き取り	
26 緊急体制マニュアルは整備されているか、緊急時体制は職員に理解されているか	3	3	書面・聞き取り	

2. 指定管理者の経営状況に関するコメント

指定管理者	今年度(令和5年度)は5月に新型コロナウイルスが感染症法上2類から第5類に引き下げになり、感染対策も大きく変わり世の中のコロナに対する警戒意識も徐々に薄らぎ、交流人口も拡大することが期待されたが、やはり迂回路が人の流れを止め利用者数の完全回復にはほど遠い年だった。入館者数は前年度比で25%増、これは令和6年2月に約3年ぶりに谷一木の侵入道路が全面開通した後に梅の季節とも重なり、急激に利用者数が増加した事が影響している。(2月は前年同月比の300%増、3月は前年同月比の150%増)1月までは年間で減少だった数字を年度末に巻き返した。しかしながら、コロナ前年比の63%減、迂回路前対比では52%減と、コロナ前の数字に近づくことは難しかった。河原城の入館料・販売売上げは後半に、自主事業利益は全般的に若干の増加をみたのと、引き続きの節約などで経費を抑え黒字決算だった。内容を見ると、物価高騰ではあったが光熱費・燃料費・人件費を極力押さえ、し尿汲み取り料なども減少し、わずかだが黒字収支になった結果、河原城だけだと収支は安定し妥当と言えるが、企業全体としては厳しい経営状況は続一纏。次年度で利用者拡大・増収に向け一層の営業努力をし何とか正常値に戻したいと思う。
施設所管課	河原城単体の収支は妥当であったが、他施設の収支状況も改善し安定した経営となるよう期待する。

3. 自主事業の実施状況に対するコメント

指定管理者	<p>◆河原城及び河原地域の魅力を情報発信できる企画の実施。</p> <p>◆今年度は5月に新型コロナウイルスが第5類に引き下げになり利用者増加の期待をしたが、年度末の谷一木侵入道路開通までは厳しい状況が続いた。◆コロナで休止していた「八上比売ネットワーク」や「神話・古代史ネットワーク」の活動は、タイミングよく卯年の今年度にコロナ5類になり活動するに相応しい年となった。◆山陰海岸ジオパーク南部地域エリア拡大の活動については、鳥取市の担当課と協議し本格的に経済面だけではなく広く周知するための地域への働きかけの支援も得ることができた。また、今までとは違うアプローチで啓発活動や団体・個人と具体的な連携ができた。R5年度も鳥取市主催の「リーダーアカデミー(とっとりふるさと元気塾が前身)」のテーマの1つとして取り上げられ、8月:用瀬、12月:佐治でジオから発生した神話・伝承で地域を見直すイベントを開催。座学・ワークショップ・フィールドワークとバランスよく実施し、地域の機運を盛り上げるための普及啓発になった。R5年度もジオパーク魅力創出補助金を受けて、7~8月に夏休みの親子向けの石ころ標本作り体験の開催や、町内のジオ・マップ作り、10~12月には用瀬の赤波溪谷と周辺のフィールドワーク、佐治の町歩き・ジオトレッキング・バスツアーなど実施し、今年も浜坂&諸寄のジオパーク・モデルコースで研修を開催。年度後半は南部地域(河原・用瀬・佐治)での新しいコース作りや商品開発を予定していたが、台風7号の甚大な被害で予定していた活動が出来なかったが、佐治地域の応援イベント“ジオ・カフェ”としてジオと災害の会計についてや「晴れの日ご飯」から発想するジオ弁当のワークショップなどが地元住民から喜ばれ、かえって良い活動になった。引き続き、他地域でも同じ内容で開催していきたい。これにより、なかなか動かなかった商品開発やジオグルメのメニュー開発などが進みそうだ。次年度も引き続き活動を進めたい。◆次年度へ向けての新企画(体験観光・特産品・観光商品開発)の準備を河原町内外と連携。</p> <p>以下は主な自主イベントの状況(新型コロナに油断することなく、引き続き感染対策も徹底しながら開催した。)</p> <p>◆特別展示の開催(地域展2回、その他2回)◆前年度に続き、展示期間を例年より長くして1人でも多くの来場者に観覧して頂けるよう配慮した。特に卯年にちなみ河原町の「古事記神話・稲羽の素菟と八上比売」に関する展示を4~6月に開催し好評を得た。◆その他のイベント◆「卯年の展示」に連動した町内のパワースポットARポイントラリーを開催した。◆かわはら七夕まつり(15年目)河原城及び中央公園の来訪機会拡大の為に毎年開催。開催期間7~8月(お盆まで)町内の幼稚園、3小学校・福祉施設の協力で開催。◆体験観光は4/6の実施。前年度よりも開催回数も多くなってきたが、中止の1つに中央公園内の梅林公園を活用した「梅の収穫とカリカリ梅づくり」があり中止になっている。原因は梅のメンテナンスが追いつかず、また天候的なものも重なり発</p>
-------	---

	<p>育不良のため収穫にならなかったからで、所管課に相談・支援を頂いて整備をしていきたい。◆ものづくり教室は2/2実施。館内が3密になりやすい為中止していたが、3年ぶりに開催した。◆町内施設・グループ施設(湯谷荘・総合体育館・青谷ようこそ館)等との連携・共催イベントも概ね開催出来、評価も良かった。◆商品開発については、梅の実を活用した新商品を企画中だったが、先述の通り収穫できなかったが、加工品以外のオリジナルグッズなどは完成・販売できた。◆元旦初日の出行事(17年目)は、積雪など迂回路の危険性を考慮して中止にした。◆節分・豆まき行事(13年目)3年ぶりに飲食を伴って開催。大勢いの参加者で賑わった。◆地域振興については、例年通り美化・保全活動など地域の協働作業はほぼ例年並み。町内の催事運営協力はまちづくり協議会等や商工会等に協力した。◆あゆ祭り:第41回大会(実行委員会参加15年目:広報、制作物、印刷物デザイン、準備、運営、当日進行・その他等)4年ぶりの開催となり、内容の見直しや運営の在り方などを十分協議しながら、また後継者育成の観点からも大変重要な開催になった。花火大会は協賛が多く記念大会のように例年より大きくなり地域住民に大変好評だった。また、「子供あゆ太鼓」指導を町内3小学校に、中学校では「若舳太鼓」の指導を行った。◆学校教育協力では、河原中学校1~3年生の総合学習時間で、郷土史・文化・くらし・自然などの外部講師として授業をした。また、毎年恒例の河原地域教職員夏季研修(河原中学で座学+リモート)で郷土史講習会の講師をした。◆山陰海岸ジオパーク南部地域エリア拡大の活動については先述の通り、イベントの開催や「ふるさとリーダーアカデミー」との共催・各地域のガイド団体との連携など前年度同様、台風に被災地でのジオカフェ開催などの応援イベントが好評で、地域の魅力の発見や魅力づくり、情報発信などが具体的な形として現れてきたので今後も活動の一環として各地で進めていきたい。</p>
施設所管課	年間を通して多彩なイベントを企画実施しており評価できる。

4. 総括コメント

指定管理者	<p>◆今年度(令和5年度)は5月に新型コロナウイルスが感染症法上2類から第5類に引き下げになり、コロナに対する警戒意識も徐々に薄らぎ、入館者数は前年度比で25%増(令和6年2月に3年ぶりに谷一木の侵入道路が全面開通した影響)しかしながら、コロナ前年比の63%減、迂回路前対比では52%減と、コロナ前の数字に近づくことは難しかった。次年度こそは河原城・中央公園の利用者が拡大するよう、一層の努力をしたい。</p> <p>◆継続イベント:「かわはら町・春フェスin河原城」と秋の月見会(ブチ月見会)は、3年ぶりに開催したが、迂回路の影響で来場者が開始以来最低だった。◆かわはら町・春フェスin河原城(旧・日本赤十字社チャリティーイベント春の茶会・27回目)3年ぶりの開催。継続していく上でいろいろな方向性を模索しながら多角的な要素を持たせるために催事名を変更し、茶会だけに拘らず期間も長く取って、開催当初の目的「地域住民の為の催事」を中心に、チャリティーイベント「茶会」も継続しつつ、全国各地の自然災害の被災地域への復興支援金と、防災意識を高める啓発活動をイベントプログラムに加えた。また、集客を図るために「インスタ映えスポット」の提供や、スマホ時代を考えた「AR・VRの町内観光ポイントラリー」など幅広い年齢層が参加でき、町内外をはじめ観光客の皆様にも河原町及び河原城への来訪機会を創出でき、河原町の春イベントの顔として定着するような催事となることを目標にしている。◆秋の月見会(ブチ月見会)は中止の方向で進んでいたが、急遽開催の運びになり、規模を縮小し10月下旬の開催となった。春・秋ともに開催以来の最低の来場者数だったが、特に月見会は天候も悪く10月下中の夜の開催にも関わらず、地元来場者からは喜ばれ、温かい応援のお言葉を頂き大変感動した。次年度は本当の意味で楽しんでいただけるよう尽力したい。</p> <p>◆管理運営については、経費を抑えながら設備・その他のメンテナンス及び清掃等を心掛けた。アンケート調査も概ね好評で、清掃が行き届いている点などの評価が高かった。その他要望については出来るだけお応えできるよう努めている。例年ある一定数の要望(エレベーターや洋式トイレの設置)については経費的・物理的に無理なものもあるが、洋式トイレなどは近年の若年層・インバウンドの観光客などの増加を考えると検討していきたいところだ。</p> <p>◆イベント・地域振興については、体験観光、トレッキング、ガイドウォーク、バスツアー、郷土史研究(座学・ワークショップ・フィールドワーク等)など開催できた。美化・保全活動など地域協働や、町内の催事運営協力・学校教育協力(総合学習時間での郷土史・文化の普及継承)なども例年通り活動できた。周辺施設・行政・商工会等や民間団体との事業運営などの概ねでき、山陰海岸ジオパーク南部地域のエリア拡大に向けての活動は、新しい目線で進めることができた。用瀬・佐治の関係団体・個人などとの連携も良好で、新しく連携した団体も増えた。今年度も補助金を受け理事ができ、ジオパーク以外の地域(ジオパークを目指す活動)に適用した。地域の魅力づくり・情報発信などの活動の一環としての商品開発もできた。</p> <p>◆まとめとして、今年度は新型コロナウイルスから解放され、人の流れが活発になった。迂回路利用の影響はあったものの、年度末から劇的に増加した来場者をこのまま維持できるように営業努力(広報や特別展・その他イベントの開催など工夫)してに努めたい。また、継続する事業の一つ一つに誠実に取り組み、利用者・地域住民の立場にたった丁寧な対応などで信頼を維持し、河原城及び河原地域の魅力度アップの取り組みを充実させたい。そして地域のコミュニティー・憩いの場として安全・安心・快適に利用していただけるように維持・管理に努め、一層のサービス向上を図りたいと思います。</p>
施設所管課	新型コロナも5類移行、懸案だった進入路も復旧完了となり、次年度以降の回復に期待したい。

「元旦初日は河原城で！！」	1月	予定 実施 備考										1月1日 慎重に江田 敷が存続した			
「節分・豆まき」	1回/年	予定 実施 備考											2月4日 2月4日		
体験観光「青梅収穫&カリカリ梅作り」	1回/年	予定 実施 備考		6月4日 梅の実の生育が悪く収穫できない為中止											
体験観光「オリジナル紅茶でティータイム・手摘み紅茶を作ろう！」	1回/年	予定 実施 備考		7月16日 7月16日											
夏休み特別企画「ジオを発見！親子で自由研究・石ころ標本作り」	1回/年	予定 実施 備考				8月11日 8月11日									
「かわはら秋の味覚をいただきます！栗拾い」	1回/年	予定 実施 備考						9月18日 9月18日							
ワークショップ「押し花ランプシェード作り」	1回/年	予定 実施 備考							10月28日 10月28日						
ものづくり教室「クリスマス・リース作り」	1回/年	予定 実施 備考								12月17日 12月17日					
農閑期SDGs体験「ワラ細工のゆったり生活雑貨～鍋敷き編」	1回/年	予定 実施 備考													定員数に達しなかった為中止
八上比売の美肌ワークショップ「体を温めて気をめぐらす葉膳茶」	1回/年	予定 実施 備考										2月25日 2月25日			
弥生のジビエ料理教室「猪肉のソーセージ作りと冬野菜スープ」	1回/年	予定 実施 備考												3月31日 3月31日	
スピリチュアル・バスツアー「古代稲羽・八上郡を巡る」	1回/年	予定 実施 備考		6月18日 6月18日											
鳥取放送大学ジオ部共催「ジオトレッキング 河原～用瀬」	1回/年	予定 実施 備考		6月19日 6月19日											
「五感で味わう！紅葉・山カフェ 霊石山・トレッキングツアー」	1回/年	予定 実施 備考							11月11日 11月11日						
体験観光「ジオトレッキング～河原町西郷・曳田川のめぐみ」	1回/年	予定 実施 備考							11月26日 11月26日						
「ジオカフェin佐治町～五しの里の宝を楽しむ集い～」	1回/年	予定 実施 備考								12月3日 12月3日					

【資料2】

1. 施設利用者数

項目	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
大人	12,000	3,030	5800	3605	5,800	4,528				
小人	3,200	1,349	1700	1068	1,700	1,296				
公園利用者	14,800	6,461	7500	6510	7,500	6,014				
合計	30,000	10,840	15,000	11,183	15,000	11,838	0	0	0	0

2. 事業収支

項目	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
指定管理料(展望台)	20,226,000	20,226,200	20,226,000	20,226,000	20,226,000	20,226,000				
物価高騰による支援金				624,986		86,000				
入館料	1,500,000	620,200	600,000	794,700	600,000	898,100				
自主事業収入(自販機除く)	1,800,000	355,719	300,000	330,054	300,000	528,993				
自販機収入(3台分)	250,000	115,474	250,000	115,474	250,000	82,827				
その他										
収入計(A)	23,776,000	21,317,593	21,376,000	22,091,214	21,376,000	21,821,920				
支出計(B)	23,350,000	20,257,482	21,368,000	20,772,761	21,368,000	21,502,833				
事業収支(A-B)	426,000	1,060,111	8,000	1,318,453	8,000	319,087				